

令和2年5月8日

保護者の皆様・生徒のみなさん

西東京市立保谷中学校

正しく恐れるということ

緊急事態宣言が延長され、学校も5月31日まで休校となりました。3月2日から3か月の間、みんなで集まって学校生活を送ることができていません。テレビや新聞、インターネットでは、日々新型コロナウイルスに関するニュースが伝えられています。感染者数、医療現場の状況、感染した方の話、休業している飲食店の状況―。さまざまな情報を見聞きし、これほどまで私たちの生活に大きな影響をもたらしている新型コロナウイルスの恐ろしさを感じていることと思います。「恐れる」ということは、感染症対策においても大切です。しかし、過剰に恐れることで、冷静さを失ったり、他人を傷つけたりしてしまう可能性があるのです。

先日、日本赤十字社が作成したガイドを紹介しました。このガイドを読むと、新型コロナウイルスの「3つの顔」を知ることができました。今回はさらに、ウイルスの次に私たちを襲ってくるかもしれない「恐怖」について取り上げた動画を紹介합니다。こちら日本赤十字社が作成したもので、下記 URL から閲覧できます。「恐怖」は、もしかしたらウイルスよりも恐ろしいかもしれません。過剰な恐怖心から差別や偏見が生まれることのないよう、この動画を見て正しく知ってほしいと思います。保護者の皆様もぜひお時間のあるときにご覧ください。

世の中にはたくさんの情報があふれています。不確かな情報に流されることなく、このウイルスのことを正しく知り、正しく恐れましょう。そして、また元気に学校生活を送れるようになることを信じて、今自分ができるところを実践していきましょう。

養護教諭 野田 優子

*日本赤十字社作成の動画は下記 URL から閲覧できます。

日本赤十字社

「ウイルスの次にやってくるもの」

<https://m.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4>